

あなんちょう 議会だより

令和8年1月15日 第104号 広報広聴委員会

賀
正

医王山関昌寺（富草）除夜の鐘

古くから関昌寺は元日0時から打ち始め108回打ちます。この日は100人ほどが振る舞い蕎麦をいただき、鐘を撞きました。鐘の音は仏様のお声とも… 今年も皆様の心に良音が響きますように…。

主な内容

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| ◆ 新年のごあいさつ 議長 …… 2 | ◆ 一般質問 …… 8～11 |
| ◆ 第5回議会臨時会、第6回議会定例会報告 …… 3 | ◆ 国県要望活動報告 …… 11 |
| ◆ 町長あいさつから、議会の動き …… 7 | ◆ 議会だよりアンケート、自治功労表彰受賞編集後記 …… 12 |

広域的活動から未来の阿南へ

新年のごあいさつ



議長 太田 直昭

新年の始めにあたり、ごあいさつ申し上げます。

昨年は、全国的な気候変動の中、中部地方、長野県南部地方への影響は少なく、夏の暑さだけが記憶に残る一年でした。

世界中の争いや、経済の変動により、日本全体も影響を受け、物価高や米価格の急激な動きなど、町にとっても気の許せない日々が続くと思われます。

議長としての期間も、半年が過ぎ、残り一年余で取り組むべき課題は山積しています。南部5ヶ町村および長野・愛知県境議会での、阿南町の立場は、益々重要になってくると思われます。

一昨年国道151号が完全2車線化され、三遠南信道の開通を見据えた新たな展開が必要とされ『水・空気・主食・子供達の学び』など、多くの地方の自治体、議会での結束が求められると思います。

阿南高校や阿南病院の存続など、議会は町当局への協力はおします、リニアのみならず多くの重要な事柄で下伊那郡全体として国、県へ働きかけ、発信していかなければと感じています。今年一年、町民の皆様にとって、幸多き年であります様、お祈り申し上げます。

第5回議会臨時会

第5回議会臨時会は、令和7年11月4日(水)開催された。次の2件が上程され、いずれも原案どおり可決された。

変更について

※町広報あなん11月号3頁参照

- 阿南町一般会計補正予算(第3号)
- 工事請負契約締結事項中

▼町広報あなん11月号
二次元コード



第6回議会定例会(12月) 報告

第6回議会定例会は、令和7年12月5日(金)開会。10日(火)に社会文教常任委員会、総務産業建設常任委員会、11日(水)に予算決算常任委員会が開催され、本会議は18日(水)に再開された。提案された案件は、専決処分事項報告、条例改正3件、補正予算3件、工事請負契約の締結3件。いずれも原案どおり可決(承認)された。

※詳細は広報あなん令和8年1月号参照

総務産業建設常任委員会

12月10日(水)午後1時30分から協議会室に於いて開催。付託案件3件を審議した。

主な審議内容

- 「ゆーゆーらんど阿南」の設置及び管理等に関する

以上3件審議結果

原案可決すべきもの

- 条例の一部を改正する条例について
- 簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について
- 農業集落排水施設条例の一部を改正する条例について

社会文教常任委員会

12月10日(水)午前9時より、協議会室において開催。付託案件1件の審議後、委員会より民生課へ5件、教育委員会へ6件の質疑討論が行われた。

主な審議内容

- 陳情第1号 診療報酬・介護報酬及び障害者福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

審議結果

採択理由

採択すべきもの
中山間地にある当町の医療、介護、福祉事業所もケア労働者の賃金が低いため人材確保に苦勞し、大変厳しい状況の中、今後の存続が危惧される。すべてのケア労働者の処遇改善を、早急に国の責任として求めるべきであるため。

措置

関係大臣等に対して意見書を提出することが適当

社会文教委員会審議

教育委員会へ

- ◆町内小中学校 Wi-Fi 環境は業務に支障がなく整備されているか
小中学校は校務系と教育系ネットワークの2種類あり、Wi-Fi 環境では生徒授業の教育系。職員室は校務系で個人情報も含むため、セキュリティ上有線仕様。
- ◆小学校入学時の家庭購入備品の算数セットは、学校備品にできないか
各校の状況を一度精査して、今後備品化するかを検討したい。
- ◆小中学校・保育園の有事の備蓄の内容を具体的に
小中学校1回分の救急カリー。保育園ビスコ、缶入りパン、水(飲用・生活用)1人当たり20ℓ換算で3日分、未満児用米やストック食材。簡易トイレも備蓄。

民生課へ

- ◆町内高齢独居、老々世帯はどれくらい? (R7.4.1 現在75歳以上)
・大下条 全783世帯中 独居89 老々72
・富 草 全530世帯中 独居42 老々39
・和 合 全94世帯中 独居16 老々9
・新 野 全486世帯中 独居45 老々54
→今後の見守りは? 気付きが重要。民生委員で地域を回る際、新聞等が溜まっているか確認依頼。病院から受診日に来ず確認事例も。他、緊急通報装置(赤外線センサーで動きがない場合にコールセンターに通報) 3件の登録先に連絡いく仕組み) 利用1名。安心コール月2回安否確認の電話(社協委託事業) 利用1名。
- ◆がん検診若い方への補助は?
厚労省の推奨は40歳~、町独自では検討しない。(子宮頸がんは20代~)
- ◆福祉施設の指定管理の方向性は?
商業とそろえたい。ヒアリング実施し経営状況確認。必要あれば使用料変更の協議を検討。
- ◆認知症サポーター養成講習を幅広い世代に
学校で要望があれば認知症の知識を広げるお手伝いは出来る。令和6年度シニア講座3会場で実施、70人受講し、75歳以上が60人、若い方の参加10人。

議会のことば まめ知識

「専決処分」って?

本来議会議決が必要な事項(予算、条例等)を、首長が議会に代わって決定・執行することをいいます。

地方自治法に根拠があり、緊急の場合や議会が機能しない場合に迅速な対応を可能にする手段です。専決処分したもののについて、長は議会へ報告し承認を得る必要があります。

12月議会では、HHOライフセンター新設について、予算増額の専決処分について報告されました。



令和7年度一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出 587 万 2 千円追加
予算総額 56 億 1,321 万 5 千円

12月11日(木)午前9時から役場協議会室にて開催。付託案件3件(補正予算3件)について審議した。

歳入の主なもの

生産生活基盤整備事業補助金、県営中山間総合整備事業、かじかの湯運営事業、道路維持事業、除雪対策事業、町営住宅跡地舗装等工事請負費、及び耕地災害復旧事業の増額、老人福祉一般事業、後期高齢広域連合 負担金、町道和合 14 号線(本村橋)橋梁修繕工事、都市再生整備計画事業の減額

主な審議内容

問

ゆ〜ゆうらんど阿南管理道路整備再開

かじかの湯対岸の遊歩道整備を再開するのか？

重機借上費：+ 550 万円

答

木を伐採した状態で、対岸の管理のため、軽トラが通れる作業道を重機で造成したいと考えている。

問

和合ヘリポート完成!!

ヘリポート土地の分筆登記等費用がかかりすぎではないか。

測量委託費：+ 160 万円

答

分筆登記は以前のように部分測量でなく、対象土地全測量が必要となり高額費用となる。

問

かじかの湯レジが
新年度キャッシュレスに

備品購入のレジのキャッシュレスは？

備品購入費：+ 32 万 9 千円

答

温泉、陶芸体験館とコテージ宿泊用レジを新年度料金値上げに合わせキャッシュレス化するためのもの。

現金のみ
利用できます
CASH ONLY

問

本村橋の工事費 2 千万円減額？

本村橋(和合)橋梁工事が 2 千万円も減額となっているが？

工事請負費：△ 2,000 万円

答

今回橋の伸縮装置取替え工事等のみで PCB 処理方針変更で、補助対象外となり、約 2 千万円の塗装工事時期を見送り 5 年後検討。

問 小学校用タブレット
(155台分)委託料減額!!

小学校コンピュータ保守管理委託料約2百万円程減額は、児童用タブレット155台の導入時システム設定料を町職員の努力で削減とのこと。

設定委託費等…△204万6千円



答 導入時のシステム設定は業者委託の予定でしたが、スキルのある教育委員会職員が対応でき、削減できた。他に、中学校用95台も削減。

問 新野団地跡地購入後農道等整備!!

新野団地跡地購入後の後利用について。
工事、財産購入費：+967万5千円
(旧松澤医住宅跡地含む)

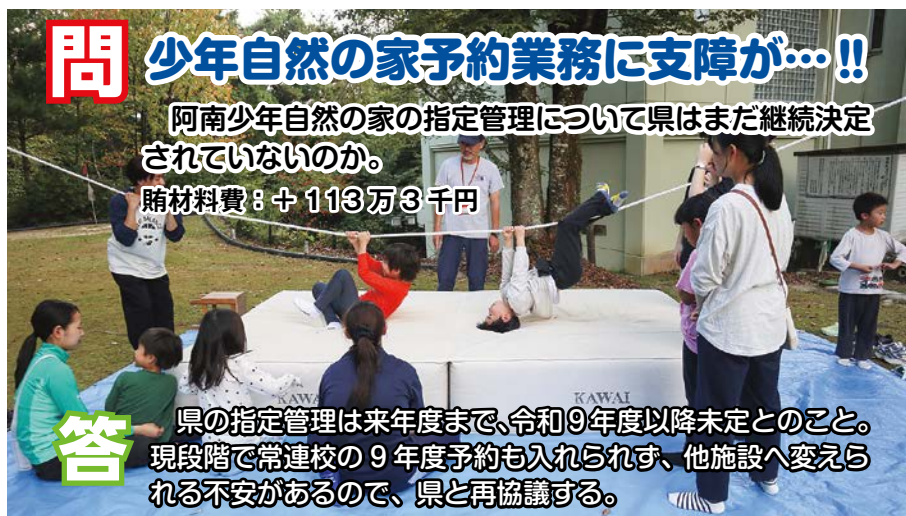


答 新野団地は既に解体済。後利用としては、地域要望等で、先線へ続く地元施工の農道整備計画あり。

問 少年自然の家予約業務に支障が…!!

阿南少年自然の家の指定管理について県はまだ継続決定されていないのか。

賄材料費：+113万3千円



答 県の指定管理は来年度まで、令和9年度以降未定とのこと。現段階で常連校の9年度予約も入れられず、他施設へ変更される不安があるので、県と再協議する。

※それぞれ事業費は補正額

令和7年度簡易水道事業会計補正予算(第2号)

一般会計からの繰入金
1億2,665万1千円とするもの。

主な審議内容

問 新規事業は当初予算で有利起債利用を!!

管路更新事業川田地区の新規実施は、新年度予算化し、過疎債等国の補填等有利な時に実施すべきでは。

委託・工事請負費：+6,226万円



答 簡易水道補助が国交省移管後、前倒し実施をと協議あり。補正予算分は過疎債使えないが、最も有利な財源を選びつつ、当初予算での採択を国に要望していく方針。

令和7年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出274万2千円増額
予算総額8億5,948万円
償還金確定による増額

主な審議内容

問 介護職員確保が課題!!

介護従事者研修に町で補助をしているが、成果は。

研修受講負担金：+30万円



写真提供：阿南町社会福祉協議会

答 下條村で開催している初任者研修に、昨年度、今年度とも2名参加。昨年度から町が補助。研修は人材確保にもつながるよう町社会福祉協議会を通じて実施。

以上補正予算
3件の審議結果は、

原案可決
すべきもの

とした

CATV 光ファイバー張替工事

令和7年度放送ネットワーク整備支援事業ケーブルテレビFTTH 化工事 阿南町全域
工事費 6億5,560万円 (株)シーテック飯田支店が施工。
工期 R7.12.16 ~ R8.3.27



FTTH (光ファイバー) に張替

12月16日(火)議会定例会再開日において町から3件の工事請負契約の締結について追加上程された。

再開日3件の追加案件

町道大下条 128 号線早稲田改良



令和7年度地方創生道整備推進交付金事業道路改良工事
町道大下条 128 号線 早稲田 (延長 120 m)
工事費 1 億 1,110 万円 (株)サントクトが施工。
工期 R7.12.16 ~ R8.12.25

HHO ライフセンター着手

令和7年度
阿南町 HHO ライフセンター新築工事
富草診療所横 工事費 6,996 万円
木下建設(株)阿南営業所が施工。
入口は小学校プール側に変更。
工期 R7.12.16 ~ R8.6.30



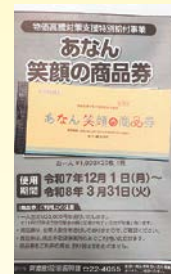
町長あいさつから

- 12 月に入りインフルエンザ流行り、休校措置した学校ある。インフルエンザ予防接種助成。子ども「児童の季節性インフルエンザ予防接種」対象は、満 1 歳から中学 3 年生で、令和 8 年 3 月 31 日までの間、助成額 1 回目 2,500 円、2 回目 1,500 円の約 5 割補助。高齢者「高齢者季節性インフルエンザ予防接種」対象は、65 歳以上の方、令和 8 年 1 月 15 日までの間、自己負担額 1,000 円、補助率を約 8 割に設定。広報あなん 9 月号(4 頁)参照。 ▶町広報あなん 9 月号



- 笑顔の商品券 1 人 2 万円支給。(発送済)。使用期間は 12 月 1 日から 3 月 31 日まで 4 か月。

- 水田農業持続化支援金は、水田農業経営及び町内の米取扱い事業者経営支援を目的で、「町内で水田農業を経営する者」1人当たり1万円、さらに「町内業者へ出荷した場合」玄米1俵あたり1万円加算金を支給。



- 上下水道使用料金、8月「水道・下水道事業運営審議会」へ、上下水道料金とも10%程度の増額を諮問。10月運営審議会は、当町の料金水準高い、物価高騰で、一律10%値上げは住民皆様のご理解困難とのご意見で、上下水道料金5%程度増額等の答申頂き、令和8年4月1日使用分から上下水道使用料5%値上げの条例改正案を今議会定例会に上程。

- かじかの湯入場料、令和8年4月1日から大人800円、子ども400円とする条例改正案を今議会定例会に上程。

議会の動き

12 月


5日	12月議会定例会開会
10日	社会文教常任委員会 総務産業建設常任委員会
11日	予算決算常任委員会
16日	議会全員協議会 12月議会定例会再開 議会全員協議会



多機能型事業所なないろ開所式(富草)

11 月

3日	町表彰式典
4日	議会全員協議会
	第5回議会臨時会
	地方自治政策研修会
6日	福岡県大木町視察研修(アトム)
6月7日	県境域開発協議会提言活動(東京 議長)
11月12日	南部地区議員会要望活動(東京 議長)
12月13日	町村議会議長会全国大会(東京 議長)
14日	広域連合議会(広域連合議会議員)
20月21日	国要望活動(東京・埼玉)
26日	議会全員協議会
	多機能型事業所なないろ開所式(議長他)
27日	議会運営委員会
28日	広域連合議会(広域連合議会議員)



10 月

1日	議会全員協議会
6日	三遠南信サミット関係総会（議長）
8日	議会運営委員会
9 10日	南部地区議員会県要望活動（議長）
17日	福祉祭り
28日	県境域議員研修会（豊根）
29日	阿南病院運営懇談会（議長）
30日	県要望活動（長野）
31日	県町村議会議長会定期総会（長野） 飯伊市町村議員研修会（下條）



県建設部要望活動(長野県庁)

一般質問



一般質問は6人が行いました。



一般質問録画放送は
「令和7年12月定例会YouTubeチャンネル」
からご覧ください

問 町長選4期目への 決意確認



藤澤 隆壽

多選への懸念総合的に
判断、引退決意

●**藤澤** 町長就任から現在までの実績を私や町民の多くが評価している。主な実績を述べる。阿南学園の新築移転、国道151号新野峠2車線化実現、生活応援券10回支給、コミュニティの森開発、駐在所（富草・大下条）の新築移転、農業振興、新野へコンビニ誘致、

化石展示館新設、災害復旧（第一、二中学校統合実施（令和9年度）等がある。町民が期待した多くの事業を県・国の先生方との信頼関係をつくり他の町村長の模範となつて行った。実績について町長の考えを聞かせて頂きたい。

■**町長** 地域は第一次産業が大事であり、全力投球でやってきた。外貨を稼がなければ町単独では難しいので、努力をしてきた。無駄をつくらないことを信念としてきた。

●**藤澤** 町に於ける今後の課題がある。主な事業に人口減少対策、阿南病院、高校、警察署の存続、大型事業の継続、施設の指定管理他町長の考えを聞かせて頂きたい。

■**町長** 人口減少、少子高齢化は非常に難しい話。道路等国県道のインフラができたからといって人口は増えない。医療福祉は不可欠



町政に全力で取り組む町長
（南信州新聞社提供）

であり、劣化して衰えないよう考えることが大事。教育は人間の根幹であり、非常に大事。

●**藤澤** 続投は多くの町民が期待している決意を！

■**町長** 課題は山積みだが、私自身時を知ると。それは、健康、気力、体力など総合的に考え、退かせて頂く。また多選は次の方の芽を摘むことになる。能力があり、力がある方がいる。公職は議会や町民が立候補者を評価し判断すべき。指名という方はいない。

◆**その他の質問**
クマ・サル等出没対応
一、現象対応について駆除法及び処理法
一、小中学校の登下校時傷害事故防止対応法



小泉 健一

問 区業務軽減、住民生活支援の町の考えは

区等要望を受け検討

回覧は高齢化や遅延等、組外者等との格差あり。町がデジタル回覧等区運営システムのモデル導入。紙情報希望者と併用試行を提案する。

合計画基本方針「情報発信強化と代替手段検討による文書配布労力・コスト削減」の地域支援施策として、区運用支援システムを導入し、区回覧業務等軽減策を。また、二つ目として、令和8年度からの、水道料金5%値上げは、審議会答申は尊重するが、町として収入見込み5%増額分(概算500万円)のうち約300万円を国の重点支援交付金を充当し、町民は2%値上げ分とする住民生活支援策を提案する。

■総務課長 紙情報希望者継続提供や維持管理費、人件費削減の実効性要検討。既存広報、住民要望踏まえ判断。

●小泉 国の今回の追加補正の重点支援地域交付金は商品券充当でなく、今年度補正をし、翌年度に有効利用するよう次の二点を提案。先ず一つ目として、町総



平成20年代の資源回収風景(富草)

●小泉 年1回旧村4地区の資源回収は、搬入量の減少、地区格差等、資源回収見直し時期では。

■建設環境課長 地域に関わる課題。継続含め、区長等にも伺い方検討する。

●小泉 区長、組長経由の

問 有事の際にひとりも取り残さない地域作りのために

自助共助意識向上のため定期的に訓練継続したい



小澤 亮子

設体験、災害時初動学習会を行い、地区へ持ち帰り41地区で実施し29地区へ消防団員派遣。「消防団の説明を受け、具体的に区の課題が見えた」地区の他、「防災倉庫や屋外子局の鍵を誰が持っているか不明」「災害状況の想定がでない」等、課題や防災意識が薄い地区もあり、今後も定期的に防災訓練を実施したい。

●小澤 9月総合防災訓練の全地区共通訓練「発災時避難するタイミングと避難後の動きを検討」各地区どのように実施され、今後の課題が見えてきたか。

■総務課長 県防災士会の協力を得て、事前に区長や消防団員を対象に避難所開

●小澤 成功事例は、安否確認のため自主避難所に集まるタイミングを震度5弱発生と決め、「支援が必要なのは手を挙げて」と話し合いながら、誰が誰を見に行くかまで決めた。そこに至るには昨年の区長が指揮を執り、避難時持出の袋を作り、作成した地区独自の居住者名簿、避難所地図や防災マップ等入れて各戸に配布。最終的に「有事の際もみんなで助け合って乗り切ろう」という地区全体の意思統一まで、これが1つのゴールでは。自主避難が難しい方の要支援者名簿は



オリジナル持出袋

地区で把握できているか。

■総務課長 3年度に本人同意を頂き作成し翌年に避難支援関係者へ名簿を提供。具体的な支援内容は本年度から、社会福祉協議会に協力頂き個別避難計画の作成を進めている。

●小澤 名簿は、平時時から関係者で共有することで発災時、円滑で迅速な避難行動、避難支援に結びつく。地区で集まる機会があれば危険箇所確認、どの方に支援が必要か何回でも話し合い、命を救うための情報共有が大事。地区防災マップ作成も進めたい。

その他の質問

◆阿南高校の特色化と地域振興を一体として考える

◆観光分野の官民連携と、スポットネットワーク化は



平松 三武

問 町内民俗芸能団体への町支援強化を求める

町補助金増回答できない

●平松 飯伊各地で民俗芸能保存に力を入れており、町にも国・県指定の無形文化財がある。担い手不足や資金難が深刻で、補助金十分でない。団体存続のためには増額等含めた支援はいかがか。

■教育委員会事務局長

町は文化財伝承活動や保存修理に補助。伝承活動補助率2分の1、保存修理10分の

9以内で支援。対象経費、

謝礼や消耗品、衣装修繕等、

食料費は対象外。衣装や備

品の更新は要事前相談。国



深見祇園祭

県補助制度厳しく、今後要研究。町単独補助金増は補助率上げしかないが、現時点で回答できない。

●平松 文化財を守る団体が活動を続けられるよう、町支援強化や規約見直しを。

問 引き渡し訓練の想定や内容は実効的か

現状に明確な課題なく、備えもしている



尾崎真理子

●尾崎 保育園・小中学校

での防災訓練は、より効果的に実施されるよう自治体

も責任をもって最新の知見

及び事例を踏まえつつ、財政上その他必要な措置を講

ずるとされる。なかでも引き渡し訓練は、施設の地理的な条件や環境などの特徴

が現れる。町内の引き渡し訓練は、どんな場面を想定しているか。

■教育委員会事務局長

実施時期により想定する災害は異なり、6月は主

に豪雨災害、9月は地震を想定している。保育園

園・小中学校共に危機管理マニュアルに沿って訓練

しており、必要な場合は随時見直しを行う。

●尾崎 降雨については予測が可能で、登園登校自体

を考える余地があるのでは。今後大規模災害も予想さ

れる中では、事前に計画できるところはしっかり決

めていく必要がある。現在、引き渡し訓練全般に課題は。

■教育委員会事務局長 各保育園では風水害や大地震

などの災害が発生した場合の対応方法について周知し

ている。大災害の場合は役場の危機管理防災係を中心

に情報収集し、保小中と情報共有した上で教育委員会

から指示を出すことになる。現時点で明確な課題はない



引き渡し訓練

が、必要に応じて改善する。

●尾崎 南海トラフのような大規模災害が起きた場合、

交通網や通信網も使えなくなり、子どもたちを保護者

へ引き渡すまでに1日以上かかることが予想される。

安全確保についてどう考えるか。

■教育委員会事務局長 保

育園では飲料水や生活用水、食料品などを用意している。

小中学校では、大きな災害時に給食が提供できなくな

る場合を想定して食料品を備蓄している。今後防災

担当課と協議し検討する。

●尾崎 学校や保育園とも協議しているとのこと。現

状や今後の方針、課題などを保護者に共有してほしい。



村澤 博光

問 熊と どう向き合うか？

間伐・景観作業を進める

●村澤 和合は、過去に熊

に襲われドクターヘリで運ばれ手術を受けた方がいた。今年熊被害は異常、新聞報道も毎日、全国では13人中10人がツキノワグマによる犠牲と過去に例を見ない。

全国にツキノワグマ、ヒグマ合わせて約4万2千頭、県下推定7,270頭で激

増。温暖化等の急激な変化、

ドングリ大凶作、餌が足りない年は人との接触の機会が増え、今年は町中、善光寺に現れたり、スーパーで食べ物をあさる等、熊は学習能力が非常に高く人間と境界がなくなってきた。戦後の拡大造林を奥山へ、そのツケがきたと反省。熊の習性で里山の暗い所を通るため、里山を手入れし明るく見通しをよくすることが大事。熊の剥皮によるヒノキなど県の被害額は、1億2千万円。鹿による剥皮は1億1千万円、手入れ不足の山で起きる。間伐等が必要。

■建設環境課長 間伐、景観整備等を進めていく。

●村澤 今緊急の場合には

猟師による銃猟、町が迅速に対応できる体制ができたが、昔猟師だった時、先輩に「熊を見たら逃げてこい、1人で絶対に撃つな」と、熊は危険だと教わった。補償やハンター育成をきちんとした中で、緊急銃猟制度の

活用を。

■建設環境課長 緊急銃猟

の運用に当たっては、十分検討していきたい。

●村澤 猟師も命がけ、マタギの人たちを招き学ぶ機会を設けてほしい。もう一つ、農にかかった熊が逃げた場合は人間を敵視するため、注意広報を流して頂きたい。

熊に襲われて医療機関にかかった70人に聞き取り調査をした結果、うつ伏せになり首の後ろに手を回し、両手を首の後ろに組み自分の頭を守る、そう防御姿勢をした7名は重傷被害を免れたという。



熊に襲われた時の防御姿勢

その他の質問

◆任意後見制度について

国 県 要 望 活 動

国 へ 要 望

11/21



国交省 道路局次長

11/20



関東地方整備局 道路企画官

11/21



財務省 本主計局主査

11/20



宮下一郎代議士秘書

県 へ 要 望



10/30

県議会副議長



建設部長

議会だよりアンケートより

102号アンケート30余名から回答を頂き、前号に引き続き抜粋し、掲載します。

〈40代男性〉 よく読んでいます。

▼提案・要望

○一般質問で、だれが何を議題として発言しているか解らない。

▼議会について

○阿南町は他の自治体同様、様・です・ますがが多い。貴重な議会での発言されない議員が残念です。

〈年齢・性別不明〉

▼提案・要望

○議会議員として町へ提案する。(議員全体の意見とし、まとめて町に提案をお願い)。人口減少の中、数年で2000人減少に。町として生命財産を守っていけるか？阿南高や中学校・小学校・保育園・阿南病院の存続問題や近隣5町村や阿智村を入れた話し合いや飯田市への合併など町民の意見を聞いて欲しい。

▼議会について

○大変良くやっているといます。頑張ってください。



自治功勞表彰受賞

長野県町村議会議長会より阿南町議会議員4名に自治功勞表彰が贈られ、12月議会定例会開会前に太田議長より伝達された。

受賞者は、次のとおり

◇町村議会議員特別表彰

藤澤隆壽議員、金田豊議員、太田直昭議員、

◇町村議会議員表彰

伊藤公市議員



藤澤隆壽、金田豊、太田直昭（5期）
伊藤公市（3期）



議長より代表して金田議員に伝達

議会だよりの表紙写真のデータを募集します!!

町民のみな様に親しまれる議会だよりを目指して
(毎号大変苦勞して写真を探しています💦)
応募いただける方は議会事務局へお電話ください。

〈募集号〉

R8.4月(105)号～7月、10月、R9.1月 発行分

編集後記

丙午(ひのえうま)の新年の幕開け。情熱を持って神馬のように前進すべく目標を立てましよう。議会も今のチームでの最終年度に突入します。大きな変革の時、まず第一に町民福祉に資するため、町民の代表としてそれぞれが精一杯精進して参ります。

あちこちで、笑顔がいっぱい溢れる楽しい一年になりますように祈念して。

更に詳しい情報は阿南町議会 HP へ

議会ホームページでは本議会詳細や、議会だよりをご覧ください。

<http://www.town.anan.nagano.jp/category/living-adm/town-information/anan-gikai/>

阿南町議会

検索

